



地球温暖化について もっと知りたい人には



かわさきエコ暮らし未来館

地球温暖化、再生可能エネルギー、資源循環について体験型の展示で楽しく学べる環境学習施設です。隣接する展望スペースから迫力のメガソーラーを見学できるガイドツアーも行っています。

川崎区浮島町509-1
浮島処理センター内
TEL. 044-223-8869



王禅寺エコ暮らし環境館

資源循環や温暖化対策、自然共生について学ぶことができる施設です。CGなどのデジタル技術を使ったゲームやクイズコーナーなど楽しみながら環境を学ぶことができます。

麻生区王禅寺1285
王禅寺処理センター内
TEL. 044-712-4637



川崎市地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化防止活動の推進拠点として、高津市民館内に「CCかわさき交流コーナー」を開設しています。地球温暖化に関する相談窓口としての情報発信や、子ども達に向けた環境教育教材の開発等、様々な活動を行っています。

高津区溝口1-4-1 高津市民館内
TEL. 044-813-1313



川崎市環境局地球環境推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL. 044-200-3871 FAX. 044-200-3921



発行：令和3年11月



みんなで一緒に 進めよう！ 今なら間に合う脱炭素

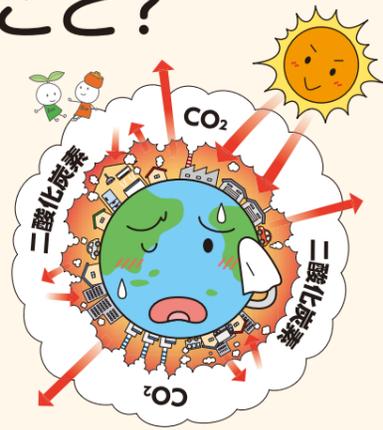
～家庭でできる気候変動対策と川崎市の取り組み～

LED



地球が温暖化するってどんなこと？

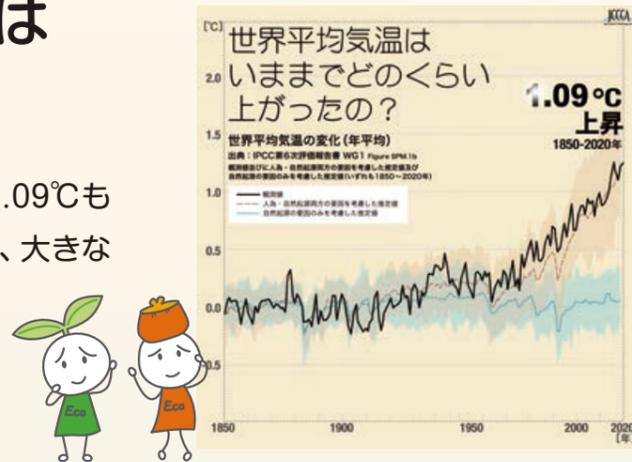
地球の外へ熱が逃げないようにする働きがCO₂(二酸化炭素)などの温室効果ガスにあります。石油やガスをたくさん燃やすとCO₂が増えて熱がこもってしまいます。地球の気温が上がる「地球温暖化」はこうしてすすむとされています。



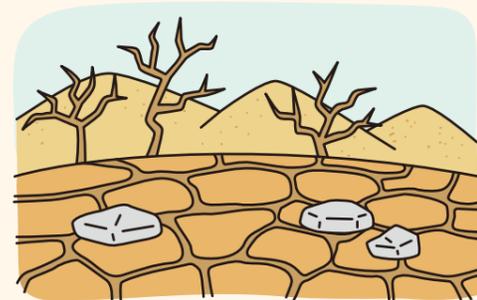
これからも地球の気温は上がり続けるの？

世界の平均気温は、1850～2020年の間に1.09℃も上がりました。このままCO₂を出し続けると、大きな影響が出るといわれています。

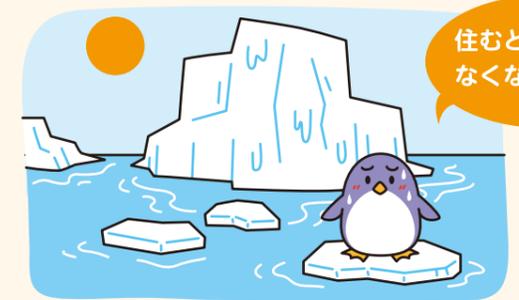
※出典：温室効果ガスインベントリオフィス／
全国地球温暖化防止活動推進センター
ウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)



温暖化の影響はこんなところに！



異常気象による干ばつや豪雨が増える



氷河が溶けたりして海面が上昇する

住むところがなくなっちゃう！



天候の異変が農作物の生産に影響する

※このほかにも生態系への影響などさまざまな問題があります。



熱中症が増えるなど健康への被害が多くなる

蚊が増えて感染症も増える!?

川崎市の気温も上がっている!?

最近の35年間を見ても、川崎市で約1.6℃、中原区で約1.8℃、麻生区で約1.9℃も上がっています。川崎市ではこれに対応するため、「治水・水害対策」「熱中症対策」「感染症対策」「暑熱対策」などに取り組んでいます。

※出典：川崎市気候変動レポート 統計期間は1985年～2019年



なにもしないとどんな未来が待ち受けている？

このまま地球温暖化が進行した場合、2100年夏の最高気温が日本中で40℃を超える可能性があります。

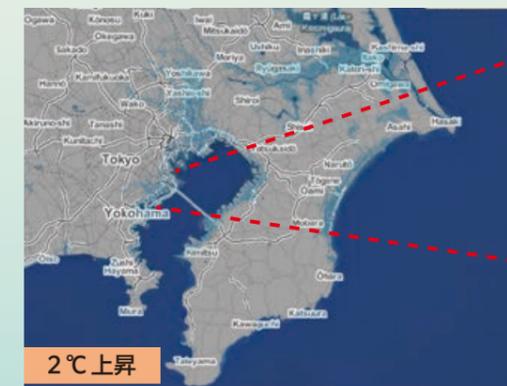
※出典：環境省_COOL CHOICEのHP



このままでは2050年には川崎市が水没!?

アメリカの研究機関が発表した研究データでは、このまま気温が上昇すると、2050年頃には全国の沿岸地域その他、川崎市の臨海部のかなりの部分が水没してしまうデータが報告されています。

海面上昇の予想図(関東)



川崎港周辺の予想図



アメリカ研究機関データでは
2℃上昇すると
川崎港周辺は**ほとんど水没**

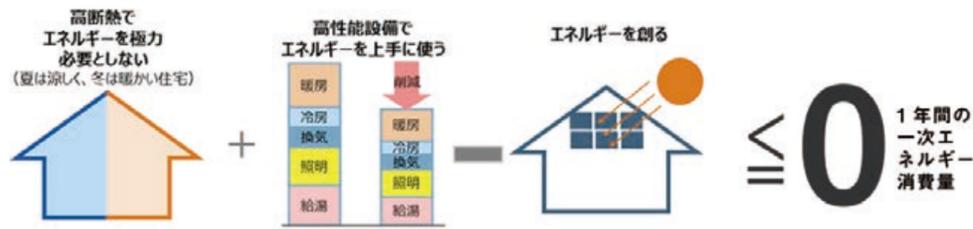
出典：アメリカ研究機関「クライメート・セントラル」ウェブサイトより川崎市作成

カーボンフットプリント (二酸化炭素の足跡)を見てみよう!

カーボンフットプリントとは、製品やサービスの「ゆりかごから墓場まで」の環境負荷(直接・間接的な温室効果ガス排出量)を明らかにする考え方です。

ZEH、ZEBってなに?

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス:ゼッチ)、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル:ゼブ)とは、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入によりエネルギー消費量を実質ゼロを目指した住宅やビルのことです。国は2030年までに、新築住宅・建築物の50%がZEH、ZEBとなることを目指しています。(2019年のZEH普及率13.9%*) ※ZEHビルダー/プランナーの年間建築総計に占めるZEHシリーズ(ZEH、Nearly ZEH)の割合



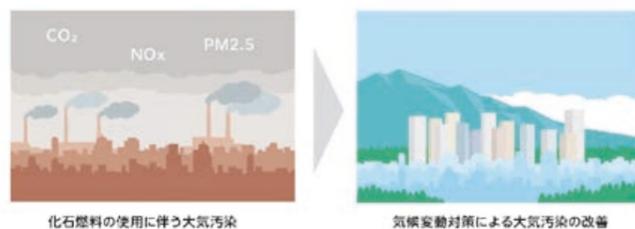
※出典: 経済産業省HP、環境共創イニシアチブ ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業 調査発表会 2020

● 近距離は車ではなく自転車を利用すると
1kmあたりのCO₂削減量 130g

木1本は年間14kgのCO₂を吸収します。

気候変動対策が大気環境の改善にもつながる

化石燃料の使用に伴い、温室効果ガス以外にもPM2.5などの大気汚染物質も大量に発生します。再エネ普及などの気候変動対策を行うことにより、大気環境の改善にも繋がります。



家庭における用途別CO₂排出量の割合及び近年の排出量推移

家庭におけるCO₂排出量の約7割は電気由来です。特に冬には給湯や暖房利用によりCO₂排出量が多くなる特徴があります。



出典: 環境省 平成31年度(令和元年度)家庭部門のCO₂排出実態統計調査(確報値)(令和3年3月)より川崎市作成

● おうちの電気を再生可能エネルギーに切り替えると
年間CO₂削減量 1170kg

● 地元で作られたものを食べると
年間CO₂削減量 10kg

● 食品ロスを削減すると
年間CO₂削減量 80kg

● 衣服を長く使うと
年間CO₂削減量 230kg

なぜ食品ロス対策が必要なの?

食品の生産・加工・流通等の各工程で排出されるCO₂は、世界全体のCO₂排出量(約335億t-CO₂)の約21%~37%といわれています。日本では本来食べられるのに捨てられている「食品ロス」が600万tもあり、食品ロスによる気候変動への影響は無視できません。

※出典: CO₂排出量はIPCC Climate Challenge and Land 2019より NTTデータ経営研究所作成
食品ロスの量は、農林水産省HP(平成30年度推計値)より

温室効果ガスの総排出量の
21~37%を占めている



家電製品を選ぶときは

統一省エネルギーラベルをチェックしよう!
1年間の電気料金の目安も記されており、家計へのメリットもわかる表示になっています。



● 省エネ性能を1.0から5.0までの0.1きざみの評価(41段階)で表示
● 省エネ基準達成率と年間消費電力量を表示
● 一年間の電気料金の目安を表示

CO₂削減のために川崎市では どんなことをしているのかな？ みんなで調べてみよう



エコドライブをする ECO DRIVER.

- ① 燃費を把握しよう
 - ② 加減速の少ない運転
 - ③ 早めのアクセルオフ
- エコドライブをした場合
年間で
約14,700円の節約
CO₂削減量 252 kg

※出典：九都県市あおぞらネットワークホームページ

燃料電池自動車 (FCV)



走行時に水しか排出しない水素を燃料とする次世代のエコカーです。川崎市役所でも3台使っています。

買い換えるときは 次世代自動車を選ぶ

たとえば電気の力で走る電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)は、CO₂を削減するほかに、災害などの非常時には電源として活用することもできます。



イベントにおける外部給電デモの様子

川崎市のごみ焼却処理施設の発電量ってどれくらい？

川崎市のごみ焼却処理施設では、年間で110,000,000kWh以上の電気を発電しており、世帯数に換算すると、27,500世帯以上の年間使用電力に相当します。※1世帯4,000kWh/年として計算

川崎市には現在4か所の一般廃棄物焼却施設があり、川崎市内一般家庭のごみ処理を支えています。その中でも、最大の処理能力を持つ浮島処理センターでは、処理能力900t/日、発電能力12,500kWを擁しています。



図：浮島処理センター

うちエコ診断

ご家庭の年間エネルギー使用量や光熱水費などの情報をもとに、専用のソフトを使って、お住まいの気候やご家庭のライフスタイルに合わせた省エネ、省CO₂対策をご提案します。環境省の認定をうけたうちエコ診断士が対面、またはオンラインで診断します。



お申し込みは 川崎市地球温暖化防止活動推進センター
<https://www.cckawasaki.jp/kwccca/>



【うちエコ診断WEBサービス】

このたび、気軽にスマホ、パソコン等インターネットで診断できる「うちエコ診断WEBサービス」がリリースされました。5分程度の簡単な診断で、年間の光熱費を把握でき、省エネ家電に買い換えた場合のシミュレーションなどができます。



スマートライフスタイル大賞

川崎市では、多様な主体の協働によるCO₂削減の取組を進めています。市民や事業者等の脱炭素社会を目指す優れた取組を表彰する「スマートライフスタイル大賞」では、令和3年度に第10回目を迎え、合計で100を超える団体を表彰しました！

川崎市内の身近な団体もエコな取組を実践しているかも！？表彰や受賞団体の詳細はHPをご覧ください。



低CO₂川崎ブランド、川崎メカニズム認証制度

川崎市には、最先端の技術を持っている会社がたくさんあり、これらの技術から開発された製品等が川崎市だけでなく、世界中へ普及することで、地球規模でのCO₂削減に貢献しています。

こういった製品等をさらに普及させていくために、川崎市では、産業支援団体等と連携して、製品等の原材料を集めるところから、最終的にごみとして処分するところまでのライフサイクル全体を通じてCO₂の排出が従来製品より少ないものを認定する「低CO₂川崎ブランド」と川崎市外で削減されたCO₂の量（域外貢献量）を認証する「川崎メカニズム認証制度」を行っています。



マルチパラメータ・フェーストアレイ気象レーダー (2020年度低CO₂川崎ブランド大賞受賞製品)



太陽光発電などの再生可能エネルギー利用を広めるために

川崎市では、市民・事業者・行政が協力し合って、地球温暖化の対策を進めています。

さらなるCO₂の削減に向けては、太陽光発電といった再生可能エネルギーの積極的な導入や、住宅の省エネ化に対して取組を行っています。

●スマートハウス補助金

個人や共同住宅の太陽光発電の導入・省エネ化に対して支援を行っています。

●みんなでいっしょに自然の電気

再生可能エネルギーを多くの人で集まって購入することで、自然の電気を安く利用することができます。

●中小規模事業者エコ化支援補助金

市内事業者の再エネ導入・省エネ化に対して支援を行なっています。

それぞれの制度の詳細はWEBで！

